

第18回
議会報告会

～開かれた議会をめざして～

令和6年5月12日(日)
午後2:00～午後4:00

調布市文化会館たづくり12階 大会議場

調布市議会

議会報告会 次第

- 1 開会あいさつ
- 2 議長報告
- 3 総務委員会報告
- 4 文教委員会報告
- 5 厚生委員会報告
- 6 建設委員会報告
- 休憩
- 7 委員会ごとに分かれて
意見や質問を伺います
- 8 閉会あいさつ

★の用語は P2 1～2 3 に解説を掲載

令和6年度 市政経営の概要

★重点プロジェクト

- 1 ◆安全・安心に暮らせるまち
- 2 ◆調布の宝である子どもたちを応援するまち
- 3 ◆誰もが自分らしく安心して住み続けられるまち
- 4 ◆にぎわいと交流のある活気に満ちたまち
- 5 ◆人と自然がおりなすうるおいあるまち

※基本計画の2年次目
 ※市民生活支援等の継続的取組

令和6年度会計別予算額

会 計	6年度	対前年度増減	増減率
一般会計	1,065億円	67億3,000万円	6.7%
特別会計	463億6,100万円	3億6,500万円	0.8%
国民健康保険事業	224億4,500万円	8,900万円	0.4%
用 地	3億2,500万円	▲7億1,400万円	▲68.7%
介護保険事業	172億2,500万円	6億4,100万円	3.9%
後期高齢者医療	63億6,600万円	3億4,900万円	5.8%
公営企業会計	76億2,000万円	7億3,300万円	10.6%
下水道事業	76億2,000万円	7億3,300万円	10.6%
合 計	1,604億8,000万円	78億2,800万円	5.1%

※金額は100万円未満を四捨五入しているため、表記額と合計額が一致しない場合があります

※下水道事業の予算規模は収益的支出と資本的支出の合計です

一般会計歳入予算 1,065億円の内訳

- ・ 市税 488億2,400万円
歳入全体の45.8% (前年度47.8%)
- ・ 国庫支出金 196億6,900万円
- ・ 都支出金 160億7,300万円
- ・ 譲与税・交付金 96億4,400万円
- ・ 市債 35億1,800万円
- ・ その他 87億7,200万円

※金額は100万円未満を四捨五入しています

一般会計歳出予算 1,065億円の内訳

- ・ 民生費 557億9,100万円
歳出全体の52.4% (前年度52.1%)
- ・ 総務費 126億0,500万円
- ・ 教育費 124億1,600万円
- ・ 土木費 106億0,700万円
- ・ 衛生費 70億9,400万円
- ・ その他 79億8,700万円

※金額は100万円未満を四捨五入しています

令和6年度 一般会計歳出予算 1,065億円の内訳（常任委員会別）

- ・ 総務委員会 174億1,800万円
(16.4%)
- ・ 文教委員会 140億4,100万円
(13.2%)
- ・ 厚生委員会 603億9,300万円
(56.7%)
- ・ 建設委員会 146億4,800万円
(13.7%)

※金額は100万円未満を四捨五入しています

総務委員会



委員長
副委員長

沼田 亮
青山 誠
平野 充
榊原登志子
井上 耕志
伊藤 学
木下安子

1

総務委員会

行政経営部

総務部

市民部

会計管理者

監査委員

選挙管理委員会

第1回定例会

議案8件 陳情1件

本発表では

▼R6年度一般会計歳入歳出予算
総務委員会所管分 につき報告

2

令和6年度 一般会計歳入歳出予算

防災・防犯対策



- 防災備蓄倉庫の周辺道路は少なくとも2～3基は非常灯が必要。災害時の無停電化を進めるべき
- 防犯カメラの録画確認依頼が多い地域は、原因を分析。要望の多い防犯カメラ設置や防犯ステッカー配布を

3

防災・防犯対策

- フェーズフリー★の視点を踏まえた積極的な取組を
- 受援応援計画の着実な推進を
- スーパーフレア★対策など電磁波への対応を
- 防災行政無線について、高齢者へのデジタルデバインド★対策と停電時の対策を



4

防災・防犯対策



- 外国人の方が容易に防災情報を入手できるよう情報提供方策の検討を
- 防災対策からジェンダーバイアス★の払拭を
- LGBTQ★への対応を充実させるなど、地域防災計画には多様な市民の声の反映を

5

能登半島地震



- 富山市と連携した被災地の支援が重ねられた。即座に動いた調布市と調布市職員に対しても感謝
- 相互応援の支援活動に躊躇なく、すぐに取り組んだ姿勢を高く評価
- 被災地を生で見えて被災住民に接した経験を防災・減災対策に活かしてほしい

6

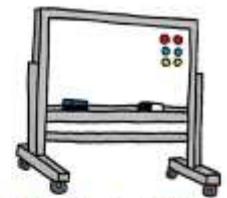
全体の意見・要望



- 「市民の安全安心の確保と市民生活支援」の優先度を明確化する理念や共生社会のビジョンが不明瞭。市民生活の実態把握と市民参加プログラムでの市民と行政の約束事の実践を
- GovTech東京★との意見交換とともに、デジタル人材の内部育成もはかり、行政のデジタル化推進を要望
- ふるさと納税の返礼に近藤勇の活用を要望

7

全体の意見・要望



- 大企業誘致や中小企業支援など地域活性化に資する取組に努め、中長期を見据えた税収確保策の検討を要望。基金の一括運用・債券運用の拡充を評価
 - 都市基盤整備の成果が堅調な税収につながっている。限られた予算を有効に活用した予算であり、評価
- ご清聴ありがとうございました！

8



文教委員紹介

須山 妙子 委員長	澤井 慧 副委員長	大須賀 浩裕 委員	岸本 直子 委員
内藤 美貴子 委員	丸田 絵美 委員	宮本 和実 委員	

所管部門

学校教育

文化生涯学習

産業振興

公民館・図書館・郷土博物館

スポーツ振興

3

深大寺老人憩の家 跡地活用事業

■事業概要■

水木作品と平和を希求する世界感を後世に残す事を目的とした事業

水木しげる氏の関連施設の建設を予定

水木マンガの生まれた街調布推進事業費

土砂災害特別警戒区域の解除を目的とした土地造成工事に伴う費用

1億1000万円

造成予定地 (4,600㎡)

4

調布花火大会

来場者数 **35**万人

収入		令和元年
有料席販売	1億600万円	6600万円
協賛金	3600万円	2500万円
市補助金	2300万円	2000万円
支出		
設営費	6100万円	4000万円
打上費	4400万円	3800万円
警備費	2800万円	2100万円



調布花火フォトコンテスト 最優秀賞「散華」(tsuna, 様)

5

学校給食の無償化



学校給食補助金 9億5000万

都の学校給食費負担軽減事業実施に合わせ、市は市民生活支援や自動生徒の健全な発達支援のため給食費の無償化を決定。

財源内訳

都負担分 4億7600万円

New 市負担分 3億6000万円

就学援助等振替分 1億1400万円

■ 質疑事項

- ① 補助対象は公立小中学校
- ② お弁当についても給食費相当分を補助

■ 要望事項

- ① 給食費補助が年度限定とならないように
- ② 多摩26市内での格差が出ないように

国や都へ強く働きかけを！！

6



大分市議会へ視察 「若者応援条例について」

所管事務調査

条例制定に向けた取組

テーマ

芸術文化・スポーツの分野で調布の若者を応援

令和7年4月1日の施行に向けて、現在様々な団体と意見交換会を行っています。



◆厚生委員会の所管について



◆令和6年度予算について

【一般会計】

子ども生活部.....約229億円(前年比+6.7%)

福祉健康部約338億円(前年比+3.9%)

【特別会計】

国民健康保険特会約224億円(前年比+0.4%)

介護保険特会約172億円(前年比+3.9%)

後期高齢者医療特会.....約 63億円(前年比+5.8%)

◆条例審査

【調布市心身障害者福祉手当条例の一部を改正する条例】

「福祉タクシー券及びガソリン費助成事業」について

賛成

- 現金給付化
(タクシー券から現金に変更)
- 対象拡大
(新たに精神障がい者も対象に)

反対

- 支給の減額
(39,000円 → 30,000円に変更)

⇒ 委員会にて賛成 多数で可決。



◆子ども生活部

子ども条例普及啓発事業

- ◆こども基本法施行を受け、より一層の普及啓発を実施。
- ◆成長の度合いに見合った子ども向けリーフレットを作成。
- ◆大人向けのリーフレットも作成。

ベビーシッター利用支援事業

- ◆都の事業費を加え、120万円から9,600万円に拡充。
- ◆市民への周知・広報が重要。
- ◆事業急拡大による人材不足への懸念。



◆子ども生活部

保育園支援について

- ◆宿舎借り上げ支援事業の市外在住者への拡充要望あり。
- ◆【新規】認可保育園の0歳児空き定員補助事業について。
- ◆【新規】認証保育所の1歳児受入促進事業について。

子どもの人口減少について

- ◆人口減少の中、今後の保育の在り方について質疑あり。
- ◆募集枠の減少を各施設と相談し、あり方を検討していく。

◆福祉健康部

ひとりぐらし等対策事業費

- ◆人感センサーの普及状況について質問あり。
 - ⇒地域包括支援センター、市役所、市HPなどで広報。
 - ⇒全部で91台が稼働中。



認知症支援対策費

- ◆「もの忘れ予防検診」の受診率が低いのが課題。
 - ⇒認知症の早期発見に対する意識の向上が必要。
 - ⇒講演会等を通じて、本人や関係者に周知を図る。

◆福祉健康部

母子保健事業費について

- ◆【新規】母子健康手帳アプリの導入。
- ◆多胎児家庭の産後ケア事業の利用日数拡大。
- ◆産後ケア事業の種別、事業規模について質疑応答あり。



バースデーサポート事業について

- ◆都の補助金を利用し、育児ギフトを増額。
- ◆対象事業者の拡大、デジタル化などで質疑応答あり。

建設委員会

第18回調布市議会
議会報告会



委員長
大野祐司



副委員長
清水仁恵



川畑英樹



鈴木宗貴



山根洋平



藤川満恵



磯邊 隆

建設委員会の 所管

- 環境部
- 都市整備部

脱炭素、ゼロカーボンシティ

調布駅前トイレ整備

デマンド交通

耐震化促進について

脱炭素、ゼロカーボンシティ★

市の事務事業の二酸化炭素排出量の実績及び目標

再生可能エネルギー★ の導入拡大

市の契約主になっている46/61施設
で100%電力の導入。

→CO2年間3762t削減



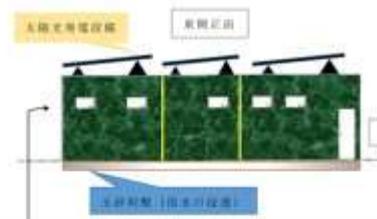
その他、ゼロカーボンの取り組み

ゼロカーボンに限定した広報紙

市民へ断熱・太陽光発電推進

公用車のEV★・PHEV★化、EV充電設備普及

調布駅前トイレ整備



ユニバーサルデザイン★、オストメイト★、乳幼児への配慮

調布らしさ、カラーバリアフリー★、誘導性案内

フェーズフリー★対応の自己処理型水洗トイレ

太陽光パネル、壁面緑化、グリーンインフラ★などの環境配慮

清潔感の維持・持続性

調布駅前トイレ整備



自己処理型水洗トイレ
「e6s (エシックス)」



デマンド交通★



利用者は一日平均3人

乗降ポイント表示がわかりにくい

高齢者にはアプリは難しい

1回300円は高額

駅など交通結節点までに

乗降ポイントやエリアの拡充

タクシーほど高くはなく、持続可能な公共交通のためやむを得ない価格設定

交通不便地域に限定しており、エリアの設定は国などからの指導もあり、実現していない

実証実験の今後の動向を検証しながら、地域公共交通計画の中で検討

耐震化促進について



木造住宅耐震化促進事業

耐震改修助成、耐震シェルター★等設置助成、不燃化対策

緊急輸送道路等沿道建築物の耐震化

特定緊急輸送道路沿道建築物 89.8% (令和4年度末)

一般緊急輸送道路沿道建築物 85% (令和4年度末)

各委員会の担当分野

総務委員会

- ⇨ 市政運営の基本方針や行政計画
- ⇨ 歳入や税金に関すること
- ⇨ 会計、監査、選挙に関すること
- ⇨ 防災・防犯対策

文教委員会

- ⇨ 市内小中学校運営や教育行政の運営
- ⇨ 図書館、公民館、博物館など、社会教育分野
- ⇨ 芸術・文化振興、生涯学習、市民活動、地域コミュニティー
- ⇨ 観光・産業振興、映画のまち調布の推進
- ⇨ オリンピック・パラリンピックの取組、市民スポーツ振興など

厚生委員会

- ⇨ 高齢者、障がい者のくらしや福祉、介護サービス、
- ⇨ 予防接種や検診などの健康づくり、国民健康保険に関すること
- ⇨ 子育て支援・幼稚園・保育園・学童クラブ
- ⇨ 青少年の育成、子ども・若者支援など

建設委員会

- ⇨ 街づくり
- ⇨ 道路や橋等の整備、交通安全対策、住宅に関すること
- ⇨ 自転車等駐車場の整備
- ⇨ 地球環境や生活環境の保全
- ⇨ 公園・緑地等の整備や保全
- ⇨ ごみの減量対策
- ⇨ 狂犬病予防接種、飼い主のいない猫対策

●お願い

第二部では、各常任委員会のグループに分かれ、各員会で発表された内容に対してのご質問やその他、ご意見・ご要望を伺います。限られた時間の中、多くの方が発言できますよう、お1人2分以内でお願いいたします。

【い】

EV

Electric Vehicle の略で、電気を動力にして動く車両全般を指す。一般的に「電気自動車」と呼ばれるものは、「EV」の中でもバッテリーの電気だけを使ってモーターで走る車のことを指す。EV は CO2 の排出が無く、エンジン車とくらべると低速で走る場合の騒音や振動が少ないといった特徴がある。

【え】

LGBTQ

性的少数者。L はレズビアン、G はゲイ、B はバイセクシュアル、T はトランスジェンダー、Q はクエスチョニングの頭文字。LGB は性的指向（恋愛や性愛の対象）を表すのに対し、T は性自認（自分の性をどう認識しているか）を表す用語の1つで、心の性が体の性（法律上の性）と一致しない性のあり方。Q は性自認や性的指向が定まっていない、または意図的に定めていない人のこと。

【お】

オストメイト

病気や事故などが原因で、消化管や尿管が損なわれ、排泄のための開口部（ストーマ）を腹部に手術で造設した人々のことを指す。ストーマは、自分の腸や尿管を使い、排泄物を一時的に受けるストーマ装具（パウチ）をストーマ部位に装着する。オストメイトの人口はおよそ 20 万人で、男女比はおよそ 6 対 4、平均年齢は 70 歳を超えているとされる。

【か】

GovTech（ガブテック）東京

区市町村を含めた東京全体のデジタル化を推進するため、行政と民間が協働して斬新で革新的なサービスを生み出す新たな場として設立。都との協働体制によりサービスを提供する。

カラーバリアフリー

色覚の多様性に配慮したデザインのこと。色覚によって色の見え方が異なる人々にも情報が正確に伝わるように、色の選択や配色を工夫することを目指すもの。例えば、色弱者にとっては、赤と緑が区別しづらいため、これらの色を使う場合は配慮が必要となる。

【く】

グリーンインフラ

自然環境の機能を社会に活用し、国土の適切な管理や人口減少・高齢化等に対応する課題解決を目指す考え方のこと。これは、防災・減災や地域復旧、地域活性化や生物多様性保全など、さまざまな課題解決を目指す SDGs (Sustainable Development Goals 持続可能な開発目標) を支える主要技術の一つと言え、国土交通省は、グリーンインフラの社会実装を推進している。

【さ】

再生可能エネルギー

太陽光、風力、水力、地熱、バイオマスなど、自然の力を利用して発電するエネルギーのことを指す。これらのエネルギー源は、使い続けても枯渇することがないため、「再生可能」なエネルギーと呼ばれる。再生可能エネルギーの利用は、地球温暖化の防止やエネルギー安全保障の強化に寄与するものといえる。

【し】

ジェンダーバイアス

男か女かといった生まれ持った性差ではなく、「男はこう、女はこうあるべきだ」という社会や文化によって作られた固定観念や、それに基づく差別、偏見のこと。無意識によるものも多い。

【す】

スーパーフレア (太陽フレア)

最大級の太陽フレア (太陽表面の突発的な爆発現象) の 10 倍以上規模のもの。エックス線などの強い放射線や、電気を帯びた粒子を放出する。もし今の太陽でスーパーフレアが起こると、地球では磁気嵐が起こり停電や通信障害、人工衛星の故障などが発生し、大混乱に陥ると懸念される。発生頻度は数 100 年から数 1000 年に 1 回と予測され、1000 年に 1 回という東日本大震災のような巨大地震の頻度と同じ程度である。

【せ】

ゼロカーボンシティ

環境省が提唱する「2050 年に向けて CO2 排出量を実質ゼロ」にするために取り組むことを表明した地方公共団体のことを指す。再生可能エネルギーによって稼働される都市であり、二酸化炭素排出量がなく、温室効果ガス排出において地球に害を及ぼさない都市のことを言う。

【た】

耐震シェルター

地震などの自然災害から身を守るための場所や空間を作るもの。家屋が倒壊した場合でも、局所的な安全空間の確保を目的として室内に設置される。主な種類には「ベッド型」「部屋型」「テーブル型」があり、既存住宅への設置が可能で、工期も短い。また、補助金を使えば、自己負担を軽減することも可能となっている。

【て】

デジタルデバイド

インターネットやパソコン等の情報通信技術を利用できる者と利用できない者との間に生じる格差。

デマンド交通

路線バスやタクシーとは異なり、利用者の予約に応じて運行経路やスケジュールを変更する地域公共交通のこと。デマンド交通は、利用者からの予約があった場合のみ運行され、運行経路やスケジュールは利用者の需要に応じて変更される。特に人口減少や少子高齢化により公共交通機関の利用者が減少し、不採算路線の廃止や縮小が進んでいる地域で導入が進んでいる。

【ひ】

PHEV

Plug-in Hybrid Electric Vehicle の略で、電気とガソリン又はディーゼルの2種類の動力源を搭載したハイブリッド車のこと。充電スタンドなど外部から充電でき、かつガソリンまたは軽油を給油できるといった、電気自動車とガソリン又はディーゼル車それぞれの機能を備えている。また、PHEVは大型の蓄電池として活用することができ、災害時等の非常用電源としても活用が見込まれる。

【ふ】

フェーズフリー

普段利用している物やサービスを、災害などの非常時にも役立てることができるという考え方。

【ゆ】

ユニバーサルデザイン

年齢、性別、文化の違い、障害の有無によらず、誰にとってもわかりやすく、使いやすい製品、サービス、空間のデザインのことを指す。全ての人が平等に利用できる社会を目指す考え方としても用いられる。

MEMO